

令和 8 年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

九州ブロック

受講番号		氏 名	
------	--	-----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- （1）試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- （2）受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- （3）本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- （4）試験開始の合図で始めてください。
- （5）解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- （6）電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- （7）試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- （8）答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者制度の意義と役割に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を持っているものである。
2. 建設現場では、直接生産活動に従事する技能労働者、とりわけその中核をなす職長等の果たす役割が重要となる。
3. 建設工事では、生産性の向上を図り、品質、コスト、安全面で質の高い施工を確保することが重要である。
4. 登録基幹技能者は、単純な作業をできる限りゆっくりと進めるための調整能力に優れた技能者である。

問題 2 登録基幹技能者の評価・活用に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 優良技能者認定制度には、上級職長手当制度がある。
2. 優良技能者認定制度には、建設マスター制度がある。
3. 優良技能者認定制度には、優良職長手当制度がある。
4. 優良技能者認定制度には、マイスター制度がある。

問題 3 登録基幹技能者制度の活用における公共工事の総合評価項目に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 企業の技術力
2. 企業の施工能力
3. 社会性
4. 担当技術者の自由度

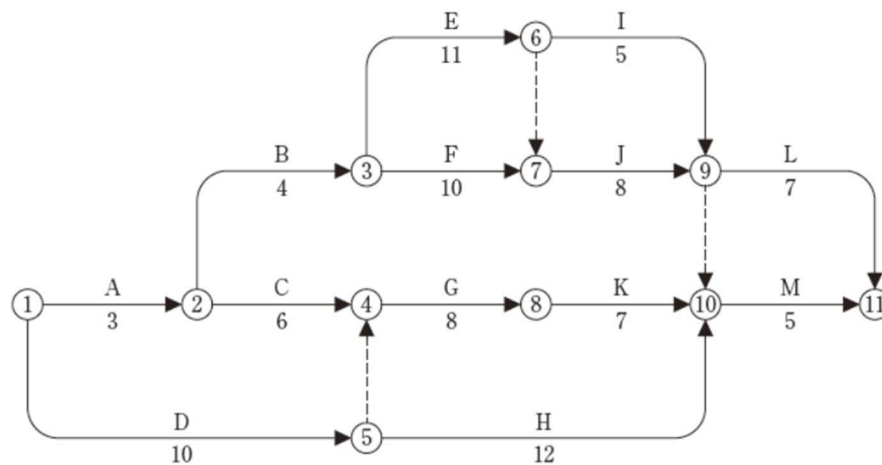
問題 4 登録基幹技能者が担うべき OJT 等に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
2. Off-JT は、Kick Off Meeting のことである。
3. OJT は、On the Job Training のことである。
4. Off- JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。

問題 5 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

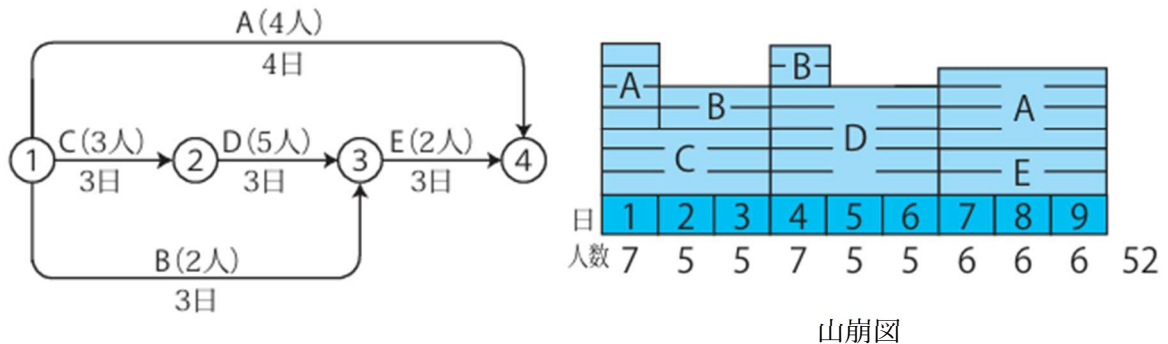
1. コンプライアンスは、組織の社会的責任である
2. コンプライアンスは、企業の社会的責任である
3. コンプライアンスは、法令順守のことである
4. コンプライアンスは、ハウスルールを守ることである

問題 6 下に示すネットワーク工程表に関する次の記述に関して、最も不適当なものはどれか。



1. E 作業、F 作業及び G 作業は、並行して行うことができる。
2. E 作業の所要日数を 1 日短縮すると、この工事全体の作業日数は、1 日の短縮となる。
3. この工事全体は、最短 32 日で終了する。
4. K 作業のフリーフロート (FF) は 3 日である。

問題 7 工程計画において、労務量の平準化を行う目的で労務の配分を示した山崩図に関して、最も不適当なものはどれか。



1. 作業 C→D→E はクリティカルパスを示している。
2. この工程における最小作業人数は、7、8、9日目の6人である。
3. この工程における最大作業人数は、1日目と4日目の7人である。
4. この現場の工期は9日である。

問題 8 わが国の建設業における労働災害の現状についての次の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働災害とは、労働者が就業中や通勤途上などで負傷、疾病、障害、死亡する災害のことをいう。
2. 建設工事全体の死亡事故の型別でみると、倒壊による事故が44%と圧倒的に多い。
3. わが国の建設業における近年の死亡者数は、年に200人を超える。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つとして、多業種の専門工事業者が作業しているため、各作業間の連絡・調整を図るのが困難であることが挙げられる。

問題 9 建設業において良く用いられる情報技術 (ICT) に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事における3次元計測技術には、レーザースキャナ測量がある。
2. 建設工事における3次元計測技術には、写真測量がある。
3. 建設工事における基準点計測技術には、GNSS測量がある。
4. 建設工事における基準点計測技術には、平板測量がある。

問題 10 施工管理項目とその内容に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 施工計画は、品質、原価、工程、安全、環境保全などについて総合的に計画し、現場代理人の経験のみに基づき施工方法を計画する。
2. 品質管理は、設計図書・仕様書等発注者の要求に基づいて施工計画・施工図等を作成し、建設物の品質を管理する。
3. 原価管理は、実行予算通りに実施できているかを管理する。
4. 工程管理は、元請の工程表から、期限内に自社の工程が効率的に行えるように元請及び他業者と調整の上、工程を計画・管理する。

問題 11 作業手順書の活用に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 作業開始前に、「指導及び教育の 8 原則」と作業手順の重要性について、関係する作業員を十分に教育訓練すること。
2. 作業手順書は定期的に見直すこと。
3. 作業上、手戻りが生じたり不具合が生じたりした場合は、作業手順書を見直しその原因となった部分を改善すること。
4. 作業中、事故・労働災害が発生した場合は、当初作成した作業手順書を基に作業を進めること。

問題 12 工事現場の原価管理の流れに関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 見積原価の管理では、請負条件を明確にして、不明な点は質疑する。
2. 請負契約後に、現場条件に合わせた施工計画を作成し、実行予算を作成する。
3. 実行予算の作成段階では、複数案を検討することで、コスト削減に結びつける。
4. 予算実績管理では、見積書を基に発注し、資機材や労務を管理する。

問題 13 専門工事業者の見積りと実行予算に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 元請の予算不足を考慮し、法定福利費相当額を含めない金額で請負契約を締結する。
2. 見積書は、元請が判断しやすいように作成する。
3. 実行予算書は、施工計画を立てて注文する形式に作り直す。
4. 実行予算の段階で、実際に注文したりする数量で算定し、計画と実績の数量比較ができるようにしておく。

問題 14 設計品質と施工品質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 品質には設計段階で定める設計品質（ねらいの品質）と、施工段階で実現する施工品質（出来栄の品質）がある。
2. 施工品質は、設計品質を施工の実態やコスト等を考慮して無理なく実現できるよう設計者が決定する。
3. 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
4. 政府は、規制改革の一環として、設計品質の一部となる技術基準を技術革新やグローバル化に柔軟に対応し、消費者の利便を増すよう性能規定化を進めてきた。

問題 15 品質保証と ISO9001 に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 専門工事業者においても品質マネジメントシステムの国際規格である ISO9001 の認証を受ける企業が多くなっている。
2. ISO9001 は、製品の品質を担保、保証するシステムを事前に文書化して自社内で認証を受け消費者に開示する仕組みである。
3. ISO9001 の考え方は、現場が方針を定めて実践する。
4. 登録基幹技能者には、ISO 9001 に関する文書の作成やそれを使いこなす知識も求められている。

問題 16 建設業法令遵守ガイドラインに関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて、建設業への若年技能者の入職を促進することが必要である。
2. 職人の処遇改善、社会保険の加入確認など現場の生産性向上を図る建設キャリアアップシステム（CCUS）を普及させていくことが必要である。
3. 厚生労働省においては、平成 19 年 6 月に本ガイドラインを策定し、元請下請間の取引適正化を推進しており、赤伝処理、一方的な代金の差し引き等、下請負人へのしわ寄せが依然として存在する。
4. 「建設業法令ガイドライン」は、元請負人と下請負人との関係に関して、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示すことにより、法律の不知による法令違反行為を防ぎ、対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 17 建設業法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 追加工事等の発生により当初の請負契約書に掲げる事項が変更になった場合、元請負人は発注者との間で追加・変更契約を締結していないならば、下請負人からの追加・変更契約の申出に応じなくてもよい。
2. 下請工事の契約数量に変更はなく、元請負人の都合で工事が一時中断し下請工事の工期を短縮することになった場合、労働者を集中的に配置し増加となった費用については元請負人が負担しなければならない。
3. 元請負人が建設廃棄物の発生がない下請工事の下請負人から、双方の協議合意の下、建設廃棄物処理費用との名目で一定額を下請代金から差し引いた。
4. 元請負人が下請負人の責任及び費用負担を明確にした上で、下請負人の施工が契約書面と異なる場合には、下請負人の負担で工事のやり直しを要請できる。

問題 18 左官の用語の定義について、**最も不適当**なものはどれか。

1. 「あま」とは、仕上げ塗り材を塗り付けた際に、壁面に混合液のみが偏って現れることを指す。
2. 石灰とは、石灰岩を焼いたものである。
3. 追かけ塗り（おっかけぬり）とは、同一塗り層を 2 工程で塗る場合に、水引き具合を見て塗り重ねていく塗り方のことを指す。
4. 富調合とは、セメントモルタルの標準配合比 1 : 3 より川砂の割合が多いものをいう。

問題 19 左官の用語の定義について、最も不適当なものはどれか。

1. 硬化不良とは、コンクリートが予定の日数を経ても、全く硬化せず、壁や床の躯体として性能の硬さに至らないことを言う。
2. 小舞下地とは、真竹、しの竹などを藁縄、しゅろなどで格子状に組んだ塗り壁下地をいう。
3. 再乳化形粉末樹脂とは、加水して攪拌・混合することで合成樹脂エマルションになるもので、効果は合成樹脂混和材と同等である。
4. 付け送りとは、端から端まで同じ鍔幅でむらなく水平に押さえることをいう。

問題 20 左官材料について、最も不適当なものはどれか。

1. 消石灰の湿式消化法とは、水中に生石灰を沈めて消化させる方法で、高熱を発して膨張させながら消化することである。
2. せっこうは、火には強く、水にも強い性質である。
3. 半水せっこうを主原料としたせっこうプラスターの特徴は、硬化に伴って膨張することである。
4. 土佐漆喰は、塩焼消石灰と3か月以上発酵させた稲藁、水を練り合わせたものであり、稲藁を発酵させることによって糊の成分とし、一般の漆喰のように糊材を混入していない。

問題 21 左官下地について、最も不適当なものはどれか。

1. 石膏ボードのスクエアエッジは、強度が強く、塗り壁下地に適している。
2. ALC パネル下地は、工場でオートクレイプした超軽量コンクリートパネルである。
3. 軽量鉄骨下地工法は、木造でいう横胴縁がないため、石膏ボードの水平のジョイントの耐力不足になる。
4. セメント系ボード板は、骨材入りポルトランドセメントを芯材とし、その表裏両面に耐アルカリ性ガラス繊維ネットを埋め込んで補強したものである。

問題 22 ラス系下地モルタル塗り工法について**最も不適当**なものはどれか。

1. ラス系下地の木造直張り構法は、構造躯体にラス下地板、面材、防水紙を張り、その上から通気層を設けずにラス及びモルタル等を直接施工する仕様である。
2. 平ラスは、木造外装用ラスとして使用し、ひび割れ防止の補強材としても使用できる。
3. 波型ラスを留め付けるステープルは、足の長さ 19mm の 1019J 程度の J 線以上のものを使用する。
4. セメントモルタル面のひび割れ抑制に有効な措置としては、補強用ネットの伏せこみがあげられる。

問題 23 左官下地に関する記述について、**最も不適当**なものはどれか。

1. 吸水調整材には、主として合成樹脂エマルションが用いられ、エチレン酢酸ビニル系およびアクリル系の 2 種類が代表的である。
2. 不陸調整として行うつけ送りは、1 回の塗り厚を 12mm 内とする。総塗り厚が 40mm を超える場合はアンカーピンを打ち込みラス張り等の剥落防止措置を行う。
3. コンクリート表面は、はく離防止のための目荒らし、清掃を行い、脆弱層を除去する必要がある。
4. PC 板は、平滑精度が高いため、左官塗りを施工する部分については、コンクリート打設時に専用シートを取付けて凹凸を付けるなどの処理が可能である。

問題 24 現代しっくい施工要領（下地）について、**最も不適当**なものはどれか。

1. 木製壁下地に石膏ボードを留め付けるビスピッチは、ボード周辺部で 100mm、一般部で 150mm を推奨している。
2. ボードジョイント部には、幅の広いジョイントテープ（寒冷紗）を用いると面拘束力が上がりせん断応力に強くなる
3. ジョイント部で石膏の露出部がある場合には、アクリル系合成樹脂エマルションプライマーの 3～4 倍液を塗布し、吸水調整を行う。
4. LGS 壁下地に張り付ける石膏ボードは、床から天井まで 1 枚で張れるサイズを使用するか、下張りとは上張りのジョイントを同位置とした 2 枚張りとする。

問題 25 左官工事に関する記述について、最も不適当なものはどれか。

1. 左官工事の目的は、建物の内外装を整え、または耐久性、防火性を高めるなどの役割を果たすものである。
2. 左官工事に要求される品質管理は、仕上げ面が平坦であることや、所要の厚さを保っていることなどがある。
3. 付け送りとは、仕上げ厚が均等になるようセメントモルタル等で予め不陸調整をすることであり、左官下地の一部として、見積りで予定した工事の対象範囲内として施工する。
4. 日本建築学会で「建築工事標準仕様書 左官工事(JASS15)」が制定されており、その副読本として「左官施工法 2020」が発刊されている。